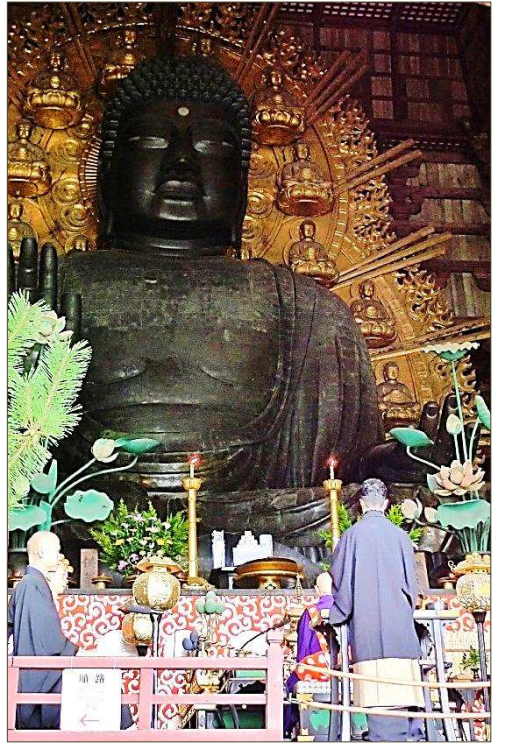
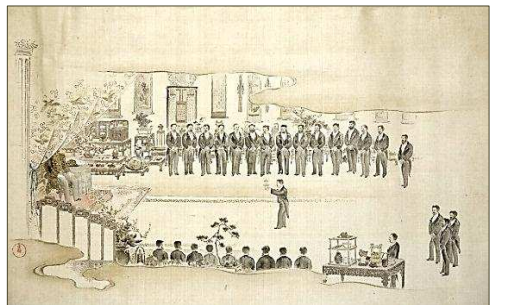


献茶式・供茶式



東大寺大仏殿供茶式 (2011年10月)

花月菴流は流祖
鶴翁の時代から光
格上皇をはじめ公
卿諸公や將軍家、
紀州、尾張の二公に
も招かれ煎茶を献
じています。
また三世一窓家
元は、明治十年、関
西ご巡幸のみぎり、
大阪府知事の依頼
により明治陛下に
献茶しました。



花月菴一窓 献茶図

花月菴流 家元教室【東京】のご案内

場所 学習院創立百周年記念会館 (目白キャンパス内)
日時 原則月二回火曜日開講 午後三時〜午後七時三十分(終了)

大学行事等の関係で開講週は毎月変更されます。
開講日や見学については 花月菴流東京支部宛メール又は
LINEアカウントにお問い合わせ下さい。



目白キャンパス



LINE アカウント

花月菴流東京支部

mail: tokyo@kagetsuan.jp



メールアドレス

煎茶 花月菴流への誘い

煎茶花月菴流

かけつあん

かくおう

花月菴流の流祖 田中鶴翁（一七八二〜一八四八）は天明二年大阪に生まれました。家業の酒造に大切な水質の研究から煎茶に深い関心を抱くようになり、黄檗山の聞中禅師について学問と茶道を修めました。天保九年 左大臣 一條忠香公より『煎茶家元』の染筆『紫の巻』を下賜され、家元となったのが、煎茶が茶道として確立した起源とされています。鶴翁の精神は代々受け継がれ、今日、大阪市天王寺区上本町の花月菴で六世香坡家元が伝統を守りつつ、時代に沿った煎茶の精神を普及させる努力を続けられています。



紫の巻

花月菴流の茶法

淹茶式 えんちゃ

「淹」は「ひたす」という意味です。茶銚（後手急須）に先に茶葉を入れ、その上に適温のお湯をひたすぐらいに注ぎます。この手順でいれる点前を淹茶式と呼んでいます。

煎茶式 せんちゃ

売茶翁の煎法より流祖鶴翁の創意でできたお茶の煎れ方です。この方式は、涼炉にかけた急須でお湯を沸し、適温になったお湯の中に茶葉を投じて茶味を出します。これを煎茶式と呼んでいます。



煎茶式飾りつけ



淹茶式飾りつけ

チャリティー合同茶会

毎年三月に大阪美術クラブで開催される

朝日新聞厚生文化事業団主催のチャリティー茶会のお席を隔年で担当しています。

正座が苦手という方にも気軽に煎茶に触れていただけるよう椅子とテーブルでの立礼席でおもてなしをしています。

建仁寺 四頭茶会

臨済宗大本山建仁寺の開祖 栄西禅師の

誕生日の四月二十日に、御生誕慶讃法会として催される禅院の茶礼が四頭茶会です。

例年、表千家、裏千家と共に、建仁寺塔頭両足院にて、四頭茶会が始まって以来副席を務めています。



建仁寺塔頭 両足院



立礼式飾りつけ